

# Kanazawa Noh Museum COLLECTION 2019

企画展 | 金沢能楽美術館 コレクション2019

江戸時代、加賀百万石の前田家により高度な武家文化が花開いた金沢。なかでも能楽は、茶とともに武士の嗜みとして手厚く保護育成され、のちに「加賀宝生」と称されるほど広く浸透しました。明治維新を迎え一時衰退しましたが、加賀宝生中興の祖・佐野吉之助らの尽力により、散逸しつつあった能面や能装束が収集され、「謡が降る街、金沢」の伝統が受け継がれました。当館はそれらをコレクションの母体とし、開館以来、貴重な能楽資料の収集・保存・展示を重ねています。

役柄のエッセンスを凝縮させた究極の造形である能面や、染織技術の粋を極めた絢爛豪華な能装束など、日本が誇る能楽文化の美意識を感じていただければ幸いです。



小面  
江戸時代 17世紀 金沢市指定文化財



水浅葱地花菱亀甲に向鶴丸文唐織  
江戸時代 17世紀 金沢市指定文化財

## お正月特別開館イベント

無料 予約不要/先着100名

### 御松囃子 -加賀藩の謡初と狂言-

〈日時〉1月3日(金) 13:30~15:00  
 〈出演〉 佐野 由於 高橋 右任 島村 明宏  
 広島 克栄 渡邊 茂人 高橋 憲正 藪 克徳  
 佐野 玄宜 佐野 弘宜/殿田 謙吉/室石 和夫  
 住駒 幸英 住駒 俊介 飯嶋 六之佐 麦谷 暁夫/  
 能村 祐丞 炭 哲男 炭 光太郎

## 特別講座 「能を旅する人々」第10回

### 「安宅」-義経・弁慶流離の道-

要予約 無料【要観覧料】

能に登場する「旅する人々」にスポットを当て、その不思議な魅力をご紹介します人気講座です。

〈日時〉12月14日(土)14:00~15:30  
 〈講師〉西村 聡(金沢大学教授)  
 〈会場〉金沢能楽美術館 3階



## 写謡の会

要予約 1回500円【要観覧料】

静かな時の中、美しい能の謡を書き写し、心身を浄化させてみませんか。当日午後に催される定例会(於石川県立能楽堂)について、能楽師による解説の後、謡本の流麗な文字をなぞります。

日程	曲目(予定)	講師(シテ方宝生流)
12月1日(日)	芭蕉・飛雲	藪 克徳
1月5日(日)	翁・国栖	佐野 玄宜
2月2日(日)	籠・西行桜	高橋 憲正
3月1日(日)	嵐山・東北	渡邊 茂人

〈時間〉10:15~約1時間 (持ち物) 筆ペン(または筆・墨・すずり)  
 〈会場〉金沢能楽美術館 3階 (参加料) 1回500円+観覧料

## Kanazawa Noh Museum 金沢能楽美術館

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25  
 TEL.076-220-2790 FAX.076-220-2791

https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp

アクセス 金沢駅東口バスターミナルより乗車、「広坂」または「香林坊(アトリオ前)」下車。(所要時間約10分)

## 冬の観能のタベ

### プレ講座

要予約 無料【要観覧料】

金沢能楽会の人気能楽師(シテ方宝生流)が、この冬の観能のタベの見どころを、丁寧に分かりやすくご紹介します。

第1回 〈日時〉1月11日(土) 10:30~11:30  
 〈講師〉佐野 弘宜  
 第2回 〈日時〉2月1日(土)10:30~11:30  
 〈講師〉渡邊 茂人

〈会場〉金沢能楽美術館 3階

## 能の楽器体験

予約不要 体験無料【要観覧料】

〈日程〉12月4日・11日・18日・25日  
 1月8日・15日・22日・29日\*  
 2月5日・19日・26日  
 3月4日・11日・18日\* ※14時まで  
 (すべて水曜日)

〈時間〉10:00~17:00 ※体験時間20分程度  
 〈会場〉金沢能楽美術館 3階

